

Gerbera

ガーベラ(FK-5-1-12消火設備)

環境にやさしいガス系消火システム

オゾン層破壊係数=0・地球温暖化係数=1未満

特長

- Gerbera (FK-5-1-12消火設備) は3M社が開発した消火剤Novec™1230を使用したガス系消火システムです。
- オゾン層破壊係数=0、地球温暖化係数=1未満と優れた環境性能を有しています。
- 消炎濃度が低いため、必要な貯蔵容器本数はハロゲン化物系の消火設備とほぼ同等で済み、設備スペースを有効活用できます。
- 電気的な絶縁性が高く、消火剤放出後、残留物が発生しません。室内のデリケートな機器への被害を、最小限度に抑えます。

設置用途

常時人がいない部分で、防護区画の面積が1,000m²未満かつ体積が3,000m³未満の部分に設置

- 自動車の修理場、駐車場
- 発電機室(ガスタービンを除く)、電気室
- 通信機器室



消火剤放射の様子

消火剤の物性比較表

消火剤	ハロゲン化物系			不活性ガス系	
	HFC-23	ハロン1301	FK-5-1-12	窒素	二酸化炭素
分子式	CHF ₃	CF ₃ Br	CF ₃ CF ₂ C(O)CF(CF ₃) ₂	N ₂	CO ₂
分子量	70	149	316	28	44
オゾン破壊係数	0	10	0	0	0
地球温暖化係数 <small>※100年積分値</small>	9100	4900	1未満	0	1
設計濃度	16.2%	5.0%	5.8%	40.3%	34.0%
容器の本数比目安	1.6	1.0	2.0	4.0	2.6
貯蔵容器	68L	68L	68L	83L	68L
配管	Sch80	Sch40	Sch40	Sch80	Sch80

設計仕様

設計濃度	5.8%~10%
設計係数	0.84kg/m ³
貯蔵容器	68L (43~95kg)
充てん比	0.7~1.6
配管	JIS G3454 Sch40
放射時間	10秒

消火剤(FK-5-1-12)の代表物性

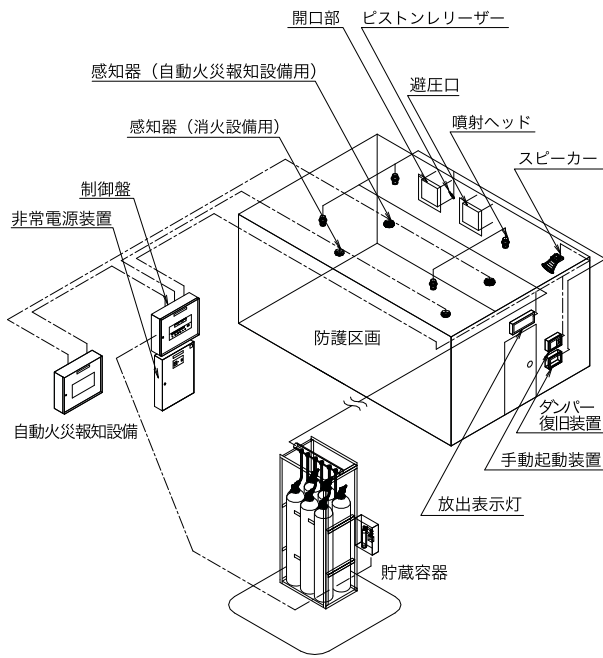
分子式	CF ₃ CF ₂ C(O)CF(CF ₃) ₂
分子量	316
沸点@1気圧	49℃
凝固点	-108℃
液体密度	1616kg/m ³
蒸発熱@沸点	88kJ/kg

※代表物性は25℃におけるものです。(沸点、凝固点、蒸発点を除く)

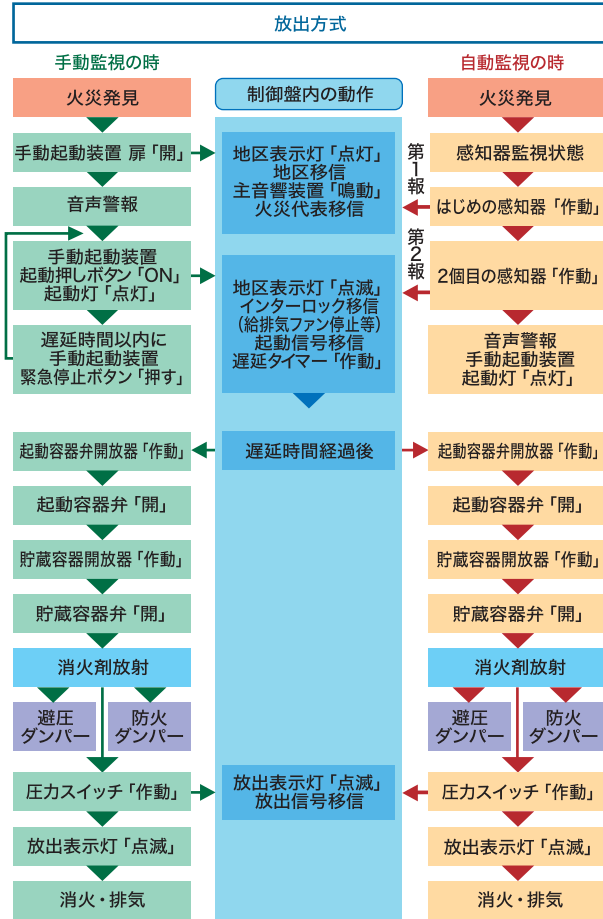
注意事項

- 全域放出方式の消火設備です。消火剤放射前に開口部を閉鎖する必要があります。
- 消火剤放射時に防護区画内の圧力が上昇するため、避圧のための開口部を設ける等の措置が必要です。

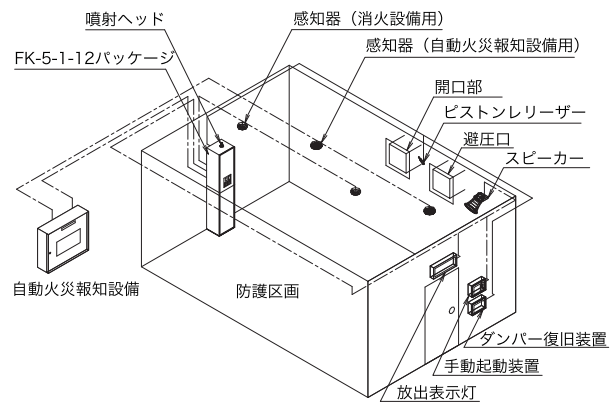
固定式消火設備のシステム構成例



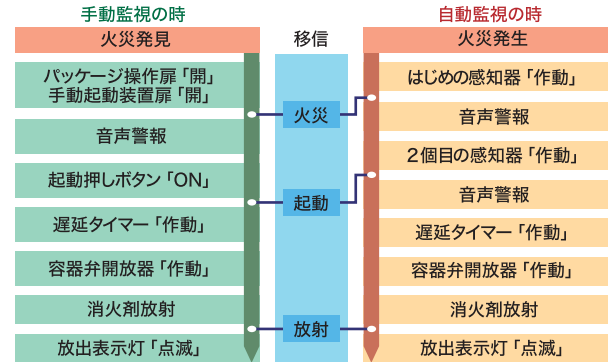
動作フロー



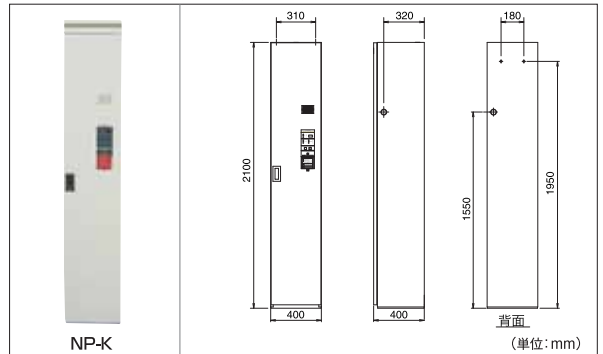
パッケージ型消火設備のシステム構成例



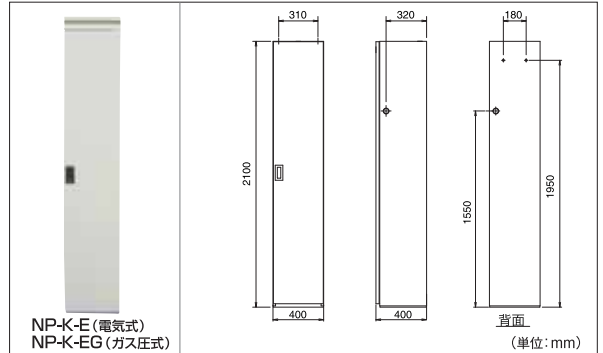
動作フロー



FK-5-1-12 パッケージ



FK-5-1-12 エキストラボックス



本資料の内容は製品改良などのため外観、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。このカタログの内容は2010年9月現在のものです。
ニッタン、NITAN、Gerbera、ガーベラはニッタン株式会社の登録商標です。



取扱い店

ニッタン株式会社

〒151-8535 東京都渋谷区幡ヶ谷1-11-6 ☎03(3468)1111 (代表)

インターネットホームページ <http://www.nittan.com/>

支社/北海道、東北、首都圏、中部、関西、中国、四国松山、九州 支店/秋田、八王子、横浜、千葉、水戸、つくば、さいたま、前橋、長野、金沢、大津、京都、神戸、岡山、高松、長崎、北九州、熊本、大分、宮崎、鹿児島
営業所/青森、郡山、富山、静岡、奈良、和歌山、松江、徳山、高知、佐賀 駐在員事務所/沖縄
ニッタンサービスセンター/北海道、東北、名古屋、大阪、広島、四国、福岡